Science News

Vol. 5　2023年2月

朝の寒さは身にしみるものの、日だまりの暖かさには春の到来を感じます。厚いコートなどいらない季節が待ち遠しいですね。それでは今月号をご覧ください。

弊社代表あいさつ

サイエンスニュースをいつもご愛読頂き誠にありがとうございます。
ここ数年間のコロナ禍により、生活様式や仕事のやり方に変化を求められてきましたが、やっと出口が見えてきたようで喜ばしく思っています。お客様におかれましても、今年は状況が好転することを祈っております。
弊社におきましては、2月から新会計年度となり、新たな一年のスタートを切ったところであります。紙面上でも紹介をさせて頂きますが、BCP（事業継続計画）を強化するために遠隔地の会社様と経済産業省が推進する「事業継続力強化計画」に申請し、令和4年末に認定を受けました
今年度は計画を推進していく一年になります。
進捗などは今後紙面上で報告させて頂ければと思います。
今年一年も引き続き弊社をよろしくお願いいたします。

代表取締役社長　堀池勇人

弊社BCP（事業継続計画）のご紹介

令和４年度
事業継続力強化計画
認定
経済産業省

「事業継続力強化計画」とは、中小企業が自社の災害リスクを認識し、防災・減災対策の 第一歩として取り組むために、必要な項目を盛り込んだもので、将来的に行う災害対策などを記載するものです。 認定を受けた中小企業は、防災・減災設備に対する税制優遇、低利融資、補助金の加点措置等を受けることができ ます。

弊社業務のご案内

シックハウス症候群という言葉を耳にしたことはございませんか？

シックハウス症候群とは、近年の住宅の高気密化により建材から飛散した化学物質が換気されず、室内空気を汚染し、人体に悪影響を与える事をいいます。症状は人により様々ですが、喉の痛み、頭痛、吐き気、湿疹などが起きます。
また、シックハウス症候群の原因は化学物質だけではなく、ダニや真菌などの生物学的要因、湿度、心理社会要因、個人の感受性など、様々な要因が複雑に関係していると考えられています。
弊社では、そのシックハウス症候群の原因となる室内空気中の化学物質濃度測定を行っております。対象となる物質はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン等になり、採取方法はポンプを使い吸着させるアクティブ法や8時間または24時間かけてサンプラーに吸着させるパッシブ法の2種類あります。弊社はどちらの方法にも対応しています。
質問などございましたらお気兼ねなくご連絡ください。

測定風景

アクティブ法

パッシブ法

株式会社 サイエンス
HPも見てね！
http://www.science-c.co.jp/
営業案内：土壌分析、アスベスト調査、産業廃棄物分析、水質検査、作業環境測定、
大気測定、騒音・振動調査、自然環境調査、環境アセスメント　等